



# だいが

沖縄国際大学  
図書館報

第55号

2021(令和3)年4月1日発行

## 目次

施設案内	2～3
紙の本 VS 電子の本 !?	
図書館長 上江洲 純子	4
知的好奇心を高め、探究心を満たす場への誘い	
地域文化研究科南島文化専攻1年次 志堅原 あさこ	4
図書館を利用して	
法学研究科法律学専攻2年次 比嘉 寛樹	4
図書館を利用して	
法学部地域行政学科4年次 呉屋 里緒菜	5
図書館を利用して	
経済学部経済学科3年次 仲本 龍市	5
図書館を利用して	
産業情報学部産業情報学科3年次 佐久田 歩夢	5
大学図書館を上手に活用する	
総合文化学部日本文化学科3年次 比嘉染優	5
学科長が新入生に薦める5冊の本	6

科目群責任者が新入生に薦める5冊の本	7
2020(令和2)年度図書館活動	8～10
LIBRARY TOPICS	11
令和元年度書評・映画評賞審査結果	12～22
令和元年度書評・映画評賞受賞作品	
最優秀賞	
書評「ほどけて繋ぐ」	
総合文化学部人間福祉学科3年次 亀谷 みなみ	13～15
優秀賞	
書評「『私』という旅に出かけた僕たちは」	
総合文化学部日本文化学科1年次 前原 維羽音	15～17
書評「湯を沸かすほどの熱い愛」	
総合文化学部英米言語文化学科1年次 勢理客 佑	18～20
映画評「あなたは何者ですか？」	
総合文化学部英米言語文化学科3年次 福峯 綾菜	20～22
2019(令和元)年度図書館統計	23



## 開館時間

曜日	開館時間	3階AV・PCコーナー
月曜日～金曜日	8:00～23:00 ※8:00～8:30は1階のみ開館	8:30～22:30
土曜日	9:00～22:00	9:00～21:30
長期休暇期間	平日 土曜日	9:00～20:30
日曜日	10:00～18:00	利用できません

※開館時間などの変更は、その都度図書館掲示板、および図書館Webサイトでお知らせします。

## 休館日

- ・国民の祝日
- ・定例休館日:毎月第1金曜日  
(ただし、定期試験期間は除く)
- ・本学創立記念日(2月25日)
- ・慰霊の日(6月23日)
- ・年末年始、その他学内行事などによる休館は、その都度図書館掲示板、および図書館Webサイトでお知らせします。



## 施設案内 ～さまざまな学びに対応する図書館を活用してみませんか～



**学習室3 ラーニングcommons(4階)**

パソコン・プリンターを設置。個人学習の他、グループ学習やディスカッション学習も可能です。



**AVホール(4階)**

映像資料などを用いた講義、上映会など多目的に利用できます。



**PCコーナー(3階)**

標準的なソフトを搭載したPCを揃えていますので、レポートや論文の作成などに利用できます。



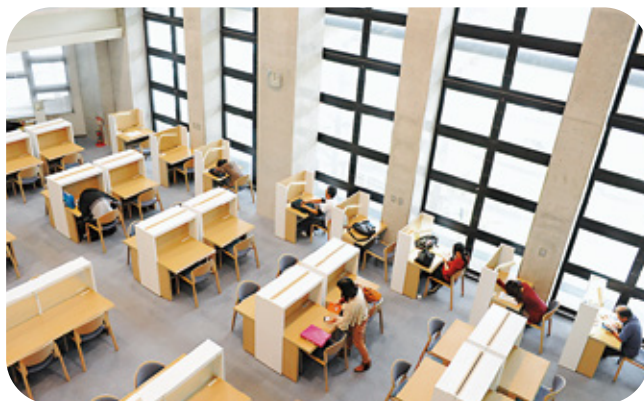
**グループ学習室(2階)**

区切られた空間で、ゼミの仲間や友人達と話し合いながら学習できます。



**閲覧室(1階)**

外からの光が差し込み明るい雰囲気の中、個室感覚で利用できます。



**閲覧室(1・2・3階)**

ゆったりとした机で、レポート作成や自習などの学習に集中しやすい落ち着いた環境です。



### ブラウジングコーナー(1階)

国内主要新聞や地方新聞のほか、週刊誌等の一般雑誌を配架しており、ソファでゆっくり読むことができます。



### 書庫(地下1・2階)

新聞、学術雑誌、大学紀要等のバックナンバーやマイクロフィルム資料室、貴重図書室があります。



### 研究個室(2階・地下2階)

教職員、大学院生、学部4年次及び3年次の後期(「卒業論文作成のための貸出許可願」の許可を受けた者)が利用できます。



### 休憩室(1・3階)

学習の合間に一息つきたい時に、休憩室でくつろぐことができます。1階の休憩室には自動販売機があります。



### コミックコーナー(2階)

2019年9月にコミックコーナーを新設しました。勉強の息抜きや、一般図書へつながらぎっかけ作りにも利用できます。



### AVコーナー(3階)

AV資料室にある視聴覚資料を、3名まで一緒に視聴することができます。個人席は44席あります(空き時間の映画鑑賞等によく利用されています)。



### 米軍ヘリ墜落事件関連資料室(2階)

2004年8月13日に本学に米軍ヘリが墜落した事件に関する資料(新聞・写真・映像等)を展示しています。平和学習の場として利用されています。





## 紙の本 VS 電子の本 !?

図書館長 上江洲 純子

最近、みなさんは紙の本を手にとったことはありますか？いつの頃からか、本も雑誌も漫画も電子化され、スマホやPCで手軽に読める時代となりました。その流れはコロナ禍でさらに加速し、電子出版物の販売額は2020年にはその前年と比べ30%近くも伸びたといえます。

本学の図書館も昨年4月には館内利用を制限せざるを得なくなりましたが、その際、学生・教職員の学びや研究を止めない対応策として真っ先に挙げたのも電子書籍等の活用でした。いつでもどこからでもアクセス可能で、劣化することもスペースをとることもない電子出版物は今後も大いに需要を伸ばしていくに違いありません。

それでは、いつか紙の本はなくなってしまうのでしょうか？2011年3月の東日本大震災では、大勢の人々が家を失い、ライフラインを寸断され、避難所生活を余儀なくされました。この未曾有の災害には多くの図書館も巻き込まれ、津波で全壊するなど被害を受けた図書館は251館にも上ります。地元の図書館が機能を失う中、当時被災地では、絵本・児童書を避難所に贈り届けるプロジェクトや子ども図書館の設置など紙の本を提供する様々な取り組みが実施されました。長引く避難所生活では、辛い経験をされた被災者、特に子どもたちにとっては本の存在が癒しの力を発揮したといえます。紙の本には、こういうときこそ手にとりたいと思わせる何かが宿っているのかもしれませんが。その威力なのか、コロナ禍では紙の本へのニーズも高まったといえます。ということは、当分の間は紙の本も健在ということでしょう。

さて、みなさんは紙の本と電子の本ならどちらを選ぶでしょうか？幸いなことに私たちは、紙の本も電子の本も活用できる時代に生きています。選択肢が増えた分、取って置きの1冊と巡り会える確率も高くなりました。紙であれ、電子であれ、自身にとっての「人生の書」を是非本学図書館で見つけ出してくださいね。

### 私の図書館活用法



## 知的好奇心を高め、探究心を満たす場への誘い

地域文化研究科南島文化専攻1年次 志堅原 あさこ

レポート作成に慣れない頃、ライティングサポートに申し込むと、大学院生が文章を推敲して、丁寧に論文指導をしてくださった。どうしても由来が気になることがあったとき、レファレンスをお願いすると、関連する情報までもお教えいただいた。振り返ってみると、知る楽しみを経験する場

面は、図書館であることが多い。

本学図書館には約50万冊の蔵書があり、研究個室やAV・PCコーナーも備えられている。資料やデータベース、本学の先生方の論文等にすぐにアクセスできる環境が整っていて、ILLサービス（複写依頼、現物貸借）では、所蔵されていない資料も確認できる。それだけでなく、大学図書館には情報検索のプロである図書館職員さんが多くいらっしゃる。自力での調査に行き詰ってしまったときには、職員さんに質問、相談すれば、優しく対応してくださり、必ずや力になってくれることだろう。図書館は、学び、関心、研究を深めるためになくてはならない場所である。

\*\*\*\*\*



## 図書館を利用して

法学研究科法律学専攻2年次 比嘉 寛樹

私は、日頃の大学院の授業や修士論文の作成に必要な文献を探すために、よく図書館を利用しています。初めて入館したときは、広い館内や充実した設備、文献の多さに圧倒されました。

沖縄国際大学の図書館は、新しい文献はもちろん、古い文献に関しても、数多く所蔵しているため、授業の補助や修士論文の作成に役立っています。その他にも、ILLサービスにより県内外の大学や図書館から文献を取り寄せることもでき、また、沖縄国際大学の図書館ホームページからデータベースを利用することもできるため、図書館は授業および研究活動においてなくてはならない存在となっております。

沖縄国際大学の図書館には、このように利点が多いため、あまり図書館を利用されていない方や、これから利用を検討している方は、ぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 私の図書館活用法



### 図書館を利用して

法学部地域行政学科4年次 呉屋 里緒菜

図書館は調べものをする場だけではなく、自己研鑽もできる場所です。沖縄国際大学の図書館は書物の種類や冊数がとても豊富で、私はレポートを書くときの参考資料の閲覧はもちろん、ゼミで報告会を行う際の準備にグループ学習室をよく活用しました。また、時間があるときには自習スペースで資格の勉強を行い知識を深め、様々なジャンルの雑誌を読み息抜きをすることもできます。他にも、就活関係の講座が行われており申し込みば誰でも参加することができるのでスキルアップの一環としてとても役に立ちます。私にとって図書館は勉強のモチベーションが上がる場所で、季節やイベントごとにおすすめの図書コーナーも設けられており、新しい本との出会いは有意義な学生生活を築いてくれると思います。

沖国生なら、このようにたくさんの魅力がある図書館をいつでも利用することができるので、ぜひ図書館に足を運んでみてください！

\*\*\*\*\*



### 図書館を利用して

経済学部経済学科3年次 仲本 龍市

私の図書館の利用・活用法として、レポート作成のために関連の書籍を見たり、読みたい本を探して借りたりしています。新型コロナウイルスの影響で図書館利用も制限される中、図書館ではコロナ禍の対応として、電子書籍や教育関連の映画をオンラインで視聴できるようにしているので課題に関連したものを見ることもあります。現在は、入館時間に制限がありますが、コロナ以前は空き時間や学習時に利用していました。3階のAV・PCコーナーではパソコンの利用も可能で、本を探しながらレポートを書くことが出来て便利です。時々、除籍本の譲渡会をしてくれるので気になる本や、レポートを書く際に持っておきたい本など調査のためにも、行くことをお勧めします。また、ゼミ選考の際には気になる先生がどのような書籍を執筆しているかなど図書館で調べれば蔵書されている場合もあるので気になる方は目を通していても面白いと思います。

\*\*\*\*\*



### 図書館を利用して

産業情報学部産業情報学科3年次 佐久田 歩夢

課題やレポートをする際に、沖縄国際大学の図書館を利用しています。今年度は新型コロナ感染症予防のため、予約制で図書館を利用しています。館内の滞在人数を制限していて、アルコール除菌も徹底していたので、安心して利用できました。

館内は、豊富な資料を綺麗に整理してある書架のおかげで、目的の本を探す時間が短くて済むため、効率よく資料を集めることができます。内装も落ち着いた色で統一しており、課題に集中しやすい環境です。また、図書館独自のイベントも個人的に楽しみにしています。例えば、1月に行われた『本の福袋』。借りるまで、袋の中の本が分からないというドキドキ感を楽しむことができました。

館内の管理はもちろん、イベントも力を入れている沖縄国際大学の図書館を自由に利用できるのは学生・院生の特権だと思います。

\*\*\*\*\*



### 大学図書館を上手に活用する

総合文化学部日本文学学科3年次 比嘉 染優

図書館を利用する目的の大部分はレポートに関することでしょう。資料集めやレポートの書き方についてなど、悩みは多岐にわたります。そこで「レポートライティングサポート」というレポートのためのサービスを1年次の時に活用しました。私は図書館情報学ゼミ所属の4年次の先輩にレクチャーして貰えました。図書館に関することを勉強し、同じ学科に所属している先輩方から学ぶことは自分の今後のためになるものばかりで、こういう講義ではこの棚にある資料が参考になるなど、新聞記事の検索の仕方、参考文献の掲示の仕方など大学生活において、参考になることをたくさん教えていただきました。

大学の図書館はとても資料種別が多く、学習室やパソコン、映画や音楽の視聴、多くの雑誌類など、大学で有意義にすごせる設備も充実しています。それらを上手に賢く利用することで、今後の大学生活を有意義にできます。ぜひ図書館の多くのサービスを活用してください。

# 学科長が新生に薦める5冊の本

## 法律学科長 伊達 竜太郎

書 名	著 者 名	発 行 所
① 法ってどんなもの？	大村 敦志	岩波書店
② ルールはなぜあるのだろう：スポーツから法を考える	大村 敦志	岩波書店
③ 法の世界へ〔第8版〕	池田 真朗	有斐閣
④ 法律学習マニュアル〔第4版〕	弥永 真生	有斐閣
⑤ 新・シネマで法学	野田 進	有斐閣

## 地域行政学科長 黒柳 保則

書 名	著 者 名	発 行 所
① ヤバい選挙	宮澤 暁	新潮新書
② SDGs入門	村上 芽、渡辺 珠子	日経文庫
③ 公務員という仕事	村木 厚子	ちくまプリマー新書
④ 子どもが増えた！ー明石市 人口増・税収増の自治体経営(まちづくり)ー	湯浅 誠、泉 房徳編著	光文社新書
⑤ 地方議員は必要かー3万2千人の大アンケートー	NHKスペシャル取材班	文春新書

## 経済学科長 比嘉 正茂

書 名	著 者 名	発 行 所
① 沖縄経済入門第2版	沖縄国際大学経済学科編 (宮城和広・浦本竜史・比嘉正茂監修)	東洋企画
② ヤバい経済学	スティーブン・D・レヴィット、 スティーブン・J・ダブナー、 望月 衛訳	東洋経済新報社
③ 競争社会の歩き方	大竹 文雄	中公新書
④ 基地はなぜ沖縄に集中しているのか	NHK取材班	NHK出版
⑤ これも経済学だ！	中島 隆信	ちくま新書

## 地域環境政策学科長 前泊 博盛

書 名	著 者 名	発 行 所
① 縄現代史	櫻澤 誠	中央公論新社
② 日本社会のしくみ	小熊 英二	講談社現代新書
③ 学問のすゝめ	福沢 諭吉	岩波書店
④ 日本はなぜ「基地」と「原発」を止められないのか	矢部 宏治	集英社インターナショナル
⑤ 入門環境経済学	日引 聡、有村 俊秀	中公新書

## 企業システム学科長 李 相典

書 名	著 者 名	発 行 所
① 歴史とは何か	E.H.カー 著 清水 幾太郎 訳	岩波書店
② FACTFULNESS (ファクトフルネス)	ハンス・ロスリング(著)、 アンナ・ロスリング・ロンダ(著)、 比嘉 正茂(訳)	日経BP
③ 伝え方が9割I・II	佐々木 圭一(著)	ダイヤモンド社
④ マンガ/漫画/MANGA人文学の視点から	前川 修・奥村 弘 編	神戸大学出版会
⑤ the four GAFA 四騎士が創り変えた世界	スコット・ギャロウェイ(著) 渡会 圭子(訳)	東洋経済新報社

## 産業情報学科長 上原 千登勢

書 名	著 者 名	発 行 所
① 自分の考えを「伝える力」の授業	狩野 みき	日本実業出版社
② FACTFULNESS (ファクトフルネス)	ハンス・ロスリング	日経BP
③ たかが英語！	三木谷 浩史	講談社
④ 沖縄ビジネスウーマン！	内海=宮城恵美子	ボーダーインク
⑤ To Kill a Mockingbird (邦題：アラバマ物語)	Harper Lee (ハーパー・リー)	Harper Perennial Modern Classics (他)

## 日本文化学科長 桃原 千英子

書 名	著 者 名	発 行 所
① 新編 教えるということ	大村 はま	筑摩書房
② 国語教科書の思想	石原 千秋	筑摩書房
③ 街場の教育論	内田 樹	ミシマ社
④ 文学部唯野教授	筒井 康隆	岩波書店
⑤ 知的複眼思考法ー誰でも持っている創造力のスイッチ	荻谷 剛彦	講談社

## 英米言語文化学科長 里 麻奈美

書 名	著 者 名	発 行 所
① 誰も知らない世界のことわざ	エラ・フランス・サンダース(著)、 前田 まゆみ(翻訳)	創元社
② 親子で育てることば力と思考力	今井 むつみ	筑摩書房
③ 異文化理解入門	原沢 伊都夫	研究社
④ Through the Looking-Glass: And What Alice Found There (Oxford Bookworms Library)	Lewis Carroll(著)、 Jennifer Bassett (Adapter)	Oxford University Press
⑤ Multilingualism : A Very Short Introduction	John C. Maher	Oxford University Press

## 社会文化学科長 比嘉 理麻

書 名	著 者 名	発 行 所
① 人類学のコモンセンス	浜本 満 浜本 まり子編	学術図書出版社
② 勉強の哲学 来たるべきバカのために	千葉 雅也	文藝春秋
③ 現代社会の理論	見田 宗介	岩波新書
④ 共同の力ー一九七〇～八〇年代の金武湾闘争とその生存思想	上原 こずえ	世織書房
⑤ バンクシー 壊れかけた世界に愛を	吉荒 夕記	美術出版社

## 人間福祉学科長 平山 篤史

書 名	著 者 名	発 行 所
① 夜と霧	ヴィクトール・E・フランクル 訳：瀧山 徳爾 訳：池田 香代子	みすず書房
② 森田療法	岩井 寛	講談社現代新書
③ きよしこ	重松 清	新潮文庫
④ 開かれた小さな扉ーある自閉児をめぐる愛の記録	バーニア・M. アクスライン	日本エディタースクール出版部
⑤ 子どものための精神医学	滝川一廣	医学書院



## 科目群責任者が新生に薦める5冊の本

### 人間文化科目群 浦本 寛史

書 名	著 者 名	発 行 所
① FACT FULNESS(ファクトフルネス)	ハンス・ロスリング 他4名	日経BP
② 漫画 君たちはどう生きるか	吉田源三郎、 羽賀翔一	マガジンハウス
③ 新版 ずっとやりたかったことを、やりなさい。	ジュリア・キャメロン	サンマーク
④ 夜は短し歩けよ乙女	森見 登美彦	角川書店
⑤ 夢をかなえるゾウ1	水野 敬也	飛鳥新書

### 国際理解科目群 上江洲 律子

書 名	著 者 名	発 行 所
① 星の王子さま	サン＝テグジュペリ	新潮社
② 文盲	アゴタ・クリストフ	白水社
③ 記憶なき民	ヴィクトル・セガレン	水声社
④ 記号の国	ロラン・バルト	みすず書房
⑤ 黒い皮膚・白い仮面	フランツ・ファノン	みすず書房

### 外国語科目群(英語以外の外国語) 岡野 薫

書 名	著 者 名	発 行 所
① フランス三昧	篠沢 秀夫	中公新書
② 大人のための韓国現代童話集: 大人のための韓国現代童話集 1朗読付き対訳	パクインシク	アルク
③ 李姉妹のおしゃべりな中国語	李 姉妹	昭文社
④ もうひとつのウチナー: 海を渡った島人嘉納辰彦写真集	嘉納 辰彦	ボーダーインク
⑤ ねこと私とドイツ語	ながりょうこ	小学館

### 社会生活科目群 仲地 健

書 名	著 者 名	発 行 所
① 幸福論	ヒルティ(著) 草間平作(翻訳)	岩波文庫
② パパバギ はじめて文明を見た 南海の酋長ツイアピの演説集	エーリッヒ・ヴォルマン(著)	SB文庫
③ 知的生産の技術	梅棹 忠夫(著)	岩波新書
④ 知的生活の方法	渡部 昇一(著)	講談社現代新書
⑤ 「知」のソフトウェア	立花 隆	講談社現代新書

### 外国語科目群(英語) 山川 満夫

書 名	著 者 名	発 行 所
① 沖縄から貧困がなくなる 本当の理由	樋口 耕太郎	光文社新書
② 本物の英語力	鳥飼 久美子	講談社現代新書
③ 日本人の英語はなぜ間違えるのか?	マーク・ピーターセン	集英社
④ 日本人の英文法	T・D・ミントン	アルク
⑤ 実行力	橋下 徹	PHP新書

### キャリア科目群 島袋 伊津子

書 名	著 者 名	発 行 所
① 「お祈りメール来た、日本死ぬ」	海老原 嗣生	文藝春秋
② 教育とキャリア[格差の連鎖と若者]	石田 浩(監修・編)	勁草書房
③ なぜ景気が回復しても給料は 上がらないのか	倉重 公太郎, 内田 靖人, 近衛 大	労働調査会
④ デプレッション―“日本の慢性病”の 全貌を解明する	吉川 洋	日本経済新聞出版
⑤ 大学で何を学ぶか	加藤 諦三	光文社



# 2020(令和2年度)年度 図書館活動

※「新型コロナウイルス感染拡大予防対策」は紙面の都合上、「コロナ対策」と表記しています。

月 日	行 事	内 容
4月1日(水)	図書館報「でいご」 第54号発行	年1回発行
4月13日(月)	電子ブック お試し読みサービス開始	丸善 eBook Library の電子ブックの試読サービスを開始しました。当館が購入していない電子ブックも、中身を確認した上でリクエスト(購入依頼)することができるようになりました。
4月30日(木)～	おすすめ本コーナー特集 「図書館」	コロナ対策のため休館中でしたが、「普段行っている活動はやっていこう」と、おすすめ本コーナーでは様々は資料を紹介していくことにしました。4月の特集は、「図書館」をテーマにした資料を紹介しました。
5月12日(火)～	おすすめ本コーナー特集 「(ずばり、)おすすめ」	コロナ対策のため、引き続き休館でしたが、5月は、「巣籠り生活におすすめする」資料をテーマにし、まとめて紹介しました。
5月25日(月)	オンラインレファレンス サービス開始	自宅からでも、学生のみなさんの「調べ方に関する質問」に答えていくため、オンラインレファレンスを開始しました。
5月28日(木)	メールによる貸出等 学内者向けサービス開始	コロナ対策を行いながらできることを。メールでの資料貸出受付を開始しました。
6月1日(月)	おすすめ本コーナー特集 「雨」	「しとしと」「ぽつぽつ」「ざーざー」。雨にもたくさんの表現があります。文学作品を中心に「雨」に関する資料をまとめて、紹介しました。 
6月4日(木)	電子ブック「LibrariE (ライブラリエ)」サービス開始	紀伊国屋書店が提供する新刊小説等の一般書を取り揃えています。学習や研究の合間に、ご利用をすすめています。
6月17日(水)	動画配信サービス 「cinemo」提供開始	世界中の「今」を切り取る選りすぐりドキュメンタリ作品17タイトルを、「いつでも」「どこでも」鑑賞できる動画配信サービス「cinemo」。講義の教材としても利用されています。 
6月24日(水)～	おすすめ本コーナー特集 「差別」	「差別はある」をスタートに、あるからこそ、知らないといけないたくさんのこと。資料をまとめて紹介しました。 
7月7日(火)～	おすすめ本コーナー特集 「星・星座」	光年先からのメッセージ。文学作品を中心に、「星・星座」に関する資料をまとめて、紹介しました。 



月 日	行 事	内 容
7月15日(水)	事前予約制入館サービス開始	<p>学内者向けサービスとして、入館予約システムを構築し、予約制の入館を開始しました。</p> <p>入館時間帯スケジュール (入館できる時間帯および人数)</p> <p>① 10:00～11:00 (10人) ② 12:00～13:00 (10人) ③ 14:00～15:00 (10人) ④ 16:00～17:00 (10人) ⑤ 17:30～18:30 (10人)</p>
8月4日(火)～	おすすめ本コーナー特集「8.13- あれから」	<p>8月は、本学にとって大切な月です。「へり墜落事件」、あれから何が変わり、何が変わっていないのか。資料をまとめて、紹介しました。</p> 
9月4日(金)～	おすすめ本コーナー特集「祭り」	<p>住む国、住む地域によって異なる「祭り」。世界の、日本の、沖縄の、それぞれのお祭りに関する資料をまとめて紹介しました。</p> 
9月24日(木)	国立国会図書館デジタルコレクションサービス利用開始	<p>国立国会図書館がデジタル化している約200万点の資料が、図書館を通して閲覧できるようになりました。</p> 
9月28日(月)	入館サービス時間拡大	7月から開始した入館予約サービスのサービス時間枠を、各60分から各80分と拡大しました。
9月30日(水)	図書資料の滅菌サービス開始	コロナ対策として、図書資料の滅菌作業を開始しました。
10月5日(月)～	おすすめ本コーナー特集「本、司書、そして図書館」	<p>本にもいろいろな本があるように、図書館にもいろいろな図書館があります。そんな図書館にまつわる資料をまとめて展示しました。</p> 
10月28日(水)	電子ブック「KinoDen(キノデン)」 「Proquest ebook Cetral」サービス開始	<p>KinoDenでは、紀伊國屋が提供する学術和書、特に沖縄関係の書籍(おきなわ文庫等)を取り揃えています。</p> <p>Proquest ebook Cetralでは、ProQuest社が提供する幅広い分野とコンテンツの洋書を取り揃えています。</p>
11月6日(金)～	おすすめ本コーナー特集「Sustainable Development Goals」	<p>「地球」とともに生きるための17のヒント。「持続可能な社会」とはをテーマに資料をまとめて展示しました。</p> 

月 日	行 事	内 容
11月11日(水)	開館時間並びに入館時間等サービス拡大	学生、大学院生のご要望に応じて、開館日・開館時間、そして入館可能時間等サービスを拡大しました。
11月20日(金)	学生支援室主催 「第1回 CINECAFE」 共催参加	学生支援室が主催した「第1回 CINECAFE」。ひとつの作品を鑑賞して、みんなで感じたことを伝え合おうという企画に、図書館所蔵の関連資料をまとめるお手伝いをしました。第1回目のテーマは「寄付」。寄付に関する資料をまとめて紹介しました。
12月3日(木)～	おすすめ本コーナー特集 「『2020』～2020という1年」	2020年は「新型コロナウイルス」というキーワードではありません。そこで、「2020年」をテーマに一年を振り返る資料紹介を行いました。 
12月14日(月)～12月18日(金)	ステップアップガイダンス(論文検索・就活に役立つ図書館活用法)開催	図書館では、学生の皆さんの学習・研究をサポートする各種ガイダンスを実施しています。「ステップアップガイダンス」では、CiNiiなどのデータベースを使って論文検索から資料入手までの方法を紹介する「論文検索」と就職活動に役立つ図書、雑誌、データベース等を紹介する「就活に役立つ図書館活用法」についてのガイダンスを開催しました。
12月14日(月)～12月25日(金)	雑誌譲渡会開催	図書館にはとてもいい雑誌がたくさんありますが、それらすべてを保管することはできません。そこで、雑誌の一部をご希望の方にお譲りしました。 
12月18日(金)	令和2年度 沖縄国際大学図書館 書評・映画評賞授賞式	応募総数23編のうち、最優秀賞1編、優秀賞3編、佳作10編の入賞を決定し、その表彰式を行いました(詳細は、12ページ参照)。
1月5日(水)～	「本の福袋」開催	2021年も、本との良い出会いがありますようにと願いを込めて、図書館スタッフがおすすめする本を「本の福袋」にして、貸出しました。
1月8日(金)	学生支援室主催 「第2回 CINECAFE」 共催参加	学生支援室が主催した「第2回 CINECAFE」。第2回目のテーマは「貧困と援助サービス」。それらに関する資料をまとめて紹介しました。
1月12日(火)～	おすすめ本コーナー特集 「はじまり」	物事には必ずある、「はじまり」。そんな「はじまり」に関する資料をまとめて紹介しました。 
1月13日(水)～2月27日(土)	図書譲渡会開催	図書館で不要になった図書の有効活用のため、学内者の皆さまにお譲りしました。

## 2020 貸出ランキング

※2020年4月1日～2021年2月28日間で算出



**バイオレンス：攻撃と怒りの臨床社会心理学**  
湯川進太郎著



**美容整形と化粧の社会学：プラスチックな身体**  
谷本奈穂著



**人を傷つける心：攻撃性の社会心理学**  
大淵憲一著



# LIBRARY TOPICS

2020年度「いつでも」「どこでも」ご利用可能なデジタルコンテンツを充実させました。電子ブック・動画配信サービス「CINEMO」等、その他にもデジタルコンテンツを導入し、サービスは拡大中です。また、ご自宅からでも調べたい事柄について質問できる「オンライン・レファレンス」サービスも始めました。是非、みなさんの学習や研究に役立ててください。

## 電子ブック

ご自宅からでも、スマホやタブレット等のブラウザで電子ブックを読むことができます。各電子ブックの詳しい利用方法は、右記のURLまたはQRコードから確認してください。



<https://www.okiu.ac.jp/library/ebook>



丸善雄松堂が提供する全分野の学術図書やビジネス書等を取り揃えています。



紀伊国屋書店が提供する新刊小説等の一般書を取り揃えています。



紀伊国屋が提供する学術和書、特に沖縄関係の書籍(おきなわ文庫等)を取り揃えています。



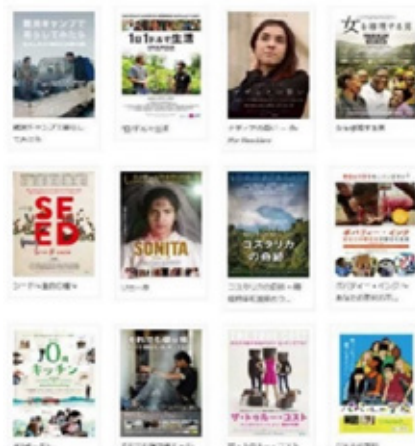
ProQuest社が提供する幅広い分野とコンテンツの洋書を取り揃えています。

## 動画配信サービス

世界中の「イマ」を切りとった選りすぐりドキュメンタリー作品17作品が鑑賞できます。講義の教材としても利用され、現代社会を考える手助けになります。

### 【鑑賞方法】

- ① 右記の QR コードまたは URL にアクセス  
<https://edu.cinemo.info/login.html?gid=23>
- ② ID と Password を入力する。  
ID は沖国大ポータルログイン時の ID で、Password はそのログイ ID に「okiu1972」を続けたものです。  
**学生・大学院生の場合**  
ID : 学籍番号(アルファベットは大文字)  
PW : 学籍番号(アルファベットは大文字)の後ろに okiu1972
- ③ 観たい映画をクリックし、スタートをクリック!



## 「オンライン・レファレンス」サービス

ご自宅からでも調べたい事柄について質問できます。下記のURLまたはQRコードからアクセスしてください。  
<https://www.okiu.ac.jp/library/usege/service2>





## 最優秀賞1編、優秀賞3編、佳作10編に決定

沖縄国際大学図書館書評・映画評賞は、本学学生の読書・映画鑑賞活動の向上を図ることを目的として、より多くの学生に図書利用を奨励促進するため、平成18年度から実施しています。

令和2年度は、23編(書評19編、映画評4編)の応募がありました。

図書委員会で厳正に審査した結果、最優秀賞1編、優秀賞3編、佳作10編の入賞が決定し、令和2年12月18日(金)に、図書館1階ブラウジングコーナーに於いて表彰式を開催しました。

表彰式では、上江洲図書館長から各受賞者に賞状と副賞が手渡され、引き続き図書館長の上江洲純子教授から、受賞作品について講評をいただきました。

その後、入賞者を代表して、最優秀賞を受賞した総合文化学部人間福祉学科3年次の亀谷みなみさんから受賞のこたばが述べられ、最後に記念撮影を行いました。

すべての受賞作品は本学リポジトリ(本学学生の作品)で読むことができます。



### 最優秀賞

(年次は受賞時)

\*\*\*\*\*  
**亀谷 みなみ**(総合文化学部 人間福祉学科 3年次)  
書評:ほどけて繋ぐ

### 優秀賞

\*\*\*\*\*  
**前原 維羽音**(総合文化学部 日本文学科 1年次)  
書評:「私」という旅に出かけた僕たちは

\*\*\*\*\*  
**勢理客 佑**(総合文化学部 英米言語文化学科 1年次)  
書評:湯を沸かすほどの熱い愛

**福峯 綾菜**(総合文化学部 英米言語文化学科 3年次)  
映画評:あなたは何者ですか?

### 佳 作

\*\*\*\*\*  
**石川 舞**(総合文化学部 日本文学科 1年次)  
書評:「本当のこと」を知るためには

\*\*\*\*\*  
**儀武 諒子**(法学部 法律学科 3年次)  
映画評:映画アラジンがなぜ、多くの人に愛されるのか

**金城 充洋**(総合文化学部 人間福祉学科 3年次)  
書評:こんな夜更けにバナナかよ

**天久 聖菜**(総合文化学部 人間福祉学科 1年次)  
書評:私の考える「少女は卒業しない」の魅力

**大城 綾子**(総合文化学部 人間福祉学科 3年次)  
書評:「糖尿病のケアリング  
語られた生活体験と感情」を読んで

**下地 茶楽**(総合文化学部 社会文化学科 1年次)  
書評:久高島の神々の世界

**宮里 美咲**(総合文化学部 人間福祉学科 3年次)  
書評:「点滴ポール 生き抜くという旗印」を読んで

**島袋 芽依**(総合文化学部 社会文化学科 3年次)  
書評:君よ、牢獄から飛び立て

**稲垣 希一**(総合文化学部 日本文学科 1年次)  
映画評:文明を使い尽くす戦争

**黒島 萌花**(総合文化学部 日本文学科 1年次)  
書評:「何者」の身近さ



**書評 最優秀賞****「ほどけて繋ぐ」**

総合文化学部 人間福祉学科 3年次

亀谷 みなみ

(年次は受賞時)

「多様な人々が多様なままつながりあえれば、と思う。」この一文は当たり前のようにも思えるが、本書を読み進めるほどそんな世界は遠いと感じた。

本の著者である綾屋沙月氏は空腹感が分からない、プールサイドを歩けない、看板が襲いかかってくるといった正体不明の症状に長年悩まされ、大人になってからアスペルガー症候群の診断を受けた。診断名を貰い、ようやく自分が何者なのか分かったと喜ぶ反面、アスペルガー症候群の「感覚過敏」「感覚麻痺」「他者とのコミュニケーションが上手くいかない」といった説明に違和感を抱いていた。そこで、脳性麻痺の小児科医である熊谷晋一郎氏と共に、自らの体験と照らし合わせながら、「自閉圏の人間は意味やまとめあげがゆっくり」というオリジナルの仮説に基づいて発達障害の世界を丁寧に紐解いていくといった内容である。

本書は全七章で構成されており、第一章では「身体がかゆい」「おなかがすいた」などといった身体の内側から発せられる訴えが潜在化されず大量で細かい情報を享受しなければならないことや、それらを絞り込み、具体的行動にまとめあげるのがゆっくりであること、そして大量の情報に対応出来なかった場合起こることや現在は内側からの訴えにどのように対処しているかについて解説している。第二章では身体からの訴えと同じく、ビルや看板、通行人といった外界からの大量で細かい情報も潜在化されず、すぐ情報が飽和状態になってしまうことについて語り、沢山の外部からの情報を選択し、どう行動するかまとめあげるのが、第一章の時と同じようにゆっくりであることを述べていく。第三章では空や月、自然と対話するといった空想世界にのめり込みやすく、疲れている時などは自分の意思とは関係なくその空想世界に突入してしまい、その日の出来事が絶えずフラッシュバックしたり、ネガティブな自動思考がずっと続いたり、自分と異なった話し方や振る舞いをするキャラクターが頭の中で話し続けたりなど、自分では止められない空想世界での出来事の辛さについて語っている。第四章では自己像がほどけやすく他者の振る舞い、思考などが侵入しやすく、自分のいつもの行動パターンや思考パターンが崩れて混乱を引き起こしてしまうことがあること、そのことから他者に抱いていた印象やまなざしにも影響して自分やその他者がどんな人だったか分からなくなってしまうことなどについて述べていく。第五章では物心ついたときから話すこと及び発声することに困難を感じていた綾屋氏が手話を会話の手段として用い、手話で上手くいったこと、手話を用いても上手くいかなかったことについて述べていく。第六章では、改めて自分の身体の内側からの刺激について語り、食事や音、月や草木などの外部の刺激によって起こる体の変化について述べていく。そして最終章では、もう一人の著者である熊谷

---

さんの経験談や著者二人のささやかな繋がり方について語っている。

先に述べたような綾屋氏の経験の中には、なんとなく同じような感覚、経験をしたことがあると感じた人もいるだろう。しかし、そのことについて綾屋氏は「あなたと私の困難さは『質的に同じでも量的に異なる』のではないだろうか」と述べており、私たちが感じた同じような感覚の延長線上にこの人の困難さがあると考えることが大切で、このような意識を持つことによって発達障害を抱える人の苦しみや思いを理解する手助けになるのではないだろうかと感じた。

また、本書ではそれぞれの章で多彩で豊かな感覚の表現が使われている。例えば、第一章で私たちが普段「おなかがすいた」の一言で済ませている「空腹感」は、綾屋氏の場合空腹感が「胃の辺りがへこむ」「胸がわさわさする」「胸がしまる感じがする」と、大量で細分化された身体感覚となり出現し、さらにこれらの身体感覚によって不快感や悲しいといった感情も伴い、結果、頭の中は情報で溢れかえると述べている。第三章では、ネガティブな思考から抜け出せなくなり終わり無くぐるぐると回り続けることをシュトコー(首都高速道路)と表現し、第四章では、他者の思惑が自我を侵食してくる感じがすることをゴンドラが押し寄せてくると表現している。このように、綾屋氏にその時起こった体験や感情を独特でユニークな表現や丁寧な説明によって等身大で表現しているのである。

そして、私が特に印象に残ったのは、最終章の「おいてけぼり」当事者同士でつながるという話である。著者二人が手話歌の発表会に行った際、綾屋氏はその手話歌に感動したことに対して、熊谷氏は正直よく分からなかったと感想を述べていた。その理由は、間身体性の共有ができないことにあった。間身体性とは、「相手の身体に生じていることと類似の状態が自分の身体にも生じるような身体のあり方」のことをいう。また、「同じ場所にいて表情や他者と同じ動きをすることが様々な気持ちをつなぐ」といった指摘がある。これらのことから、身体を動かせる人間は間身体性によって似たような動きをすることによって似たような心理感覚を味わうことができ、親しさや共同性を育んでいるのではないかと綾屋氏は推測している。つまり、熊谷氏は、脳性麻痺により他者と同じように身体が動かせないことにより、間身体性の共有、心理感覚の共有が出来なかったのである。そこで後日、ダンスシーンのあるDVDを見ながら、綾屋氏は二人羽織のように後ろに回ってダンスの動きに合わせてリズムを刻みながら熊谷氏の手足を動かすと、熊谷氏にもその楽しさが伝わり、感覚を共有できたと語っている。楽しさを共有出来なかった理由を推測し、それで満足して終わるのではなく、ではどうすれば共有出来るようになるかと工夫して伝える姿勢を見て、これが「人と繋がる」ということなんだと感じた。また、脳性麻痺は身体の動きに障害がある見える障害であると誰もが思うが、実際は間身体性不全によって心理感覚の共有を得られないという見えない障害も内在しているのではないかと、周りの人々との心の動きに共感できず「おいてけぼり感」を感じているのではないかと綾屋氏は指摘している。身体の内側や外部からの情報に押しつぶされ、人からその感覚を共有されにくい綾屋氏はそのおいてけぼり感の悲しさ、辛さについてよく知っているからこそ、その人に合わせたアプローチの仕方ではどけやすくてもゆっくり丁寧に繋がっていくのではないかと感じた。

私は、学科での学んできたことや専門書などを読んで、発達障害に関してある程度分かっていた気に



なっていたが、本書を読んで初めて知ったことや勘違いしていたこと、分かっていると思い込んでいたことなどが沢山あった。また、熊谷氏は最後に、「多くの方がたが、自身のパターンを一度分解し、異なる身体をもつ他者の世界に、思いを馳せながらこの本を読んでくれたらうれしい。そうやって多くの異なる人同士が、ゆっくりといねいにつながるといこと、それが私たちがこの本を通して実践したかったことだ。」と述べている。大量の情報が飛び交う現代社会では、情報の素早い取捨選択が求められる。そんな生活の中で、自分の気持ちや他者の気持ちを疎かにしている部分もあったと感じた。この人とは繋がれないと見捨てたり、この人とは繋がれていると相手に無理をさせていることに気づかず繋がった気になっていたりはしていないだろうか、実は障害のない側からの想像だけで、本当に当事者の立場を思い描けるのか、本当に役に立つ支援とは何なのだろうかと、改めて自分自身の価値観や思考をみつめなおすことができる一冊である。



【参考資料】『発達障害当事者研究 ゆっくりといねいにつながりたい』 綾屋沙月、熊谷晋一郎著 (医学書院) 2008年



## 書評 優秀賞

### 「『私』という旅に出かけた僕たちは」

総合文化学部 日本文化学科 1 年次

前原 維羽音

(年次は受賞時)

タイトルになっている「私とは何か」というような問いは、誰もが一度は自らに問うものではないだろうか。俺って何がしたいんだろうか、私には何が出来るんだろう、自分は何で生まれてきたんだろう、といった具合だ。しかし、タイトルの問いはそのような意味合いの問いではない。そもそも「私」という一人称のアイデンティティを追求する道筋を与えるものではなく、白紙の状態から生まれた人間が他の誰でもない「私」となる形成過程をスケッチ風に記述したものである。つまり、私が私たらしめる根本的なものはいったいどんなものだろうか、という問いである。

本書は序章を含めた全七章で構成されており、序章では人が生きる世界の不思議な構図を確認し、これを支える身体とことばのかかわりから追うことが述べられている。第一章ではいくつかの例をあげながら、ことばについて初歩のイメージから死という観念、ことばの視点の置換で見える景色など、ことばが私たちの世界でどのように生きているのかを描き、それが身体の世界とどう絡むのかの問題意識をイメージ的に提起している。第二章では発達論的還元の考え方で身にまどってきた思い込みを白紙に戻し、小頭症の子どもの実験や失認症の男性を描いた作品を例に、ゼロの視点に立つことの必要性を説き、それによってはじめて人をありのままに理解することが可能になると述べている。第三章では人間の些細な行動や＜能動－受動＞のやりとり、自閉症の子どもたちのエピソードなどを取り

---

上げながら、身体を持つ心的構造を明らかにしている。第四章では写真や図でわかりやすく説明し、前章で描かれた構図を用いながら意味世界の成り立ちや、ことばの世界の成り立ちを論じている。第五章では豊富な図と日常的な行動を取り上げながら、「私」というものが他者との関係の中から生まれてくるものであり、他者との関係を離れては成り立たないものであると述べる。そして最終章である第六章では羞恥心を一例に、これまでに述べてきた身体とことばの関係や心的構図を、「私」を形作る来歴の一部としてまとめあげている。

筆者が第六章で述べているように、自縄自縛の元になる「世間」は、同じ「世間」の中でも、それまでとちがった新しい関係を生きなおすことが可能であると私も考える。価値付けの温床となる「世間」と、こうでなければならないという思い込みで苦しむ人々も、ほんの工夫で「世間」の感じ方を変えることができるのではないかと感じる。

本書では、羞恥心を取り上げられたテーマの中で四肢欠損の人々の実体験の話があるが、私が印象に残っているものは、いつも手袋をつけて生活していたMさんの話だ。

Mさんは五歳のときに火傷で右手の指を短くしてしまった。小学校に入る頃になって母親は、Mさんの右手の指を露出したまま学校に行かせるのを気の毒に思い、黄色いミトンの手袋をつけて学校に通わせることになる。それから、Mさん自身も指の機能をはたせなくなった右手を仲間にバカにされることを恐れて、学校に行くとき、外出するときの右手はいつも隠れていた。しかし、大学に入ってしばらく、守っていたはずの手袋が彼女をさいなみはじめた。春夏秋冬、部屋の内でも外でも、差異を埋めるためにつけていた手袋が、かえって彼女を目立たせていたのである。手袋をはずそう、はずさなければならないとMさんは思うようになった。手袋をはずして講義に出たときのこと、いざ教室に入ったが講義どころではなかった。誰も彼女のことを見ているわけでもないのに、覆われていない素手の右手が気になり、先生の話がまったく耳に入らなかったと言う。どうもがいても戻ることのない障がいに見切りをつけることができず、それ以来、Mさんは手袋で隠されてきた自分の羞恥心と対面することになる。

羞恥心はMさんほどのものではなくとも、誰もが知っているおなじみの感情であると筆者は言っている。なるほど学生時代の頃を思い返すと、常に羞恥の念が出しゃばっていた。とくに思春期の頃には顕著に、それが思考に、身体に表れてくる。友達に寝癖を指摘されたときや、自分が何もしていなくても全校生徒の前に立たされたとき、先生に指名されて黒板に間違った解答を記したときの恥ずかしいという感情がそれにあたる。

ではなぜ、人間は羞恥心という感情が形成されるのか。そのことに筆者は、羞恥心を考える上で「他者の評価」をどのように捉えるかということが、もっとも重要な論点であると主張する。この論点が本書で指摘されるまで、私は羞恥心というのは「私」という一人称のみで成り立つものだと考えていた。確かに前文の例に挙げたように、寝癖を指摘されたり、全校生徒の前に立たされるという状況は、必ず誰かに「見られる」という事象があつてのことだ。しかし、「見られる」から恥ずかしいという感情を抱くのではなく、その「見られる」の中に潜む「評価」が個人にとってどのレベルかということ

が重要である、と筆者は主張しているのである。寝癖を指摘されるというのは、普段の髪型から崩れた髪型へ変形したことでダサくなってしまった、という評価を伴う。全校生徒の前に立たされるというのは、自分はどういう様に見られているのだろうかという評価が直接的にわからないので、不安が募り羞恥心を感じるということだ。Mさんの話に戻すと、彼女の短くなった指を持つ右手を見て、周りの人は物珍しそうな顔をしたり、露骨に傷つく言葉を発したかもしれない。それはつまり、「あなたの右手は普通ではない」という評価になる。そうした評価を避けるために母親が編んでくれた手袋も、皮肉なことに、「世間の目」にそのままさらしてはいけな手として、否定的に位置づけられてきたのである、と筆者は言う。本書の出版年は1999年で、現在とくらべたら障がいや病気を持つ人々への理解が進んでいなかっただろうし、多様性も感じられなかったかもしれない。なので、赤の他人が障がい者に対してネガティブな目線を送るなどの「世間の目」に苦しむのも、無理ないように思われる。しかし、現在でも「世間の目」に苦しんでいる人がいないわけではない。それは障がいや病気の有無に限らず、対象は誰にでも当てはまるだろう。

この「世間の目」に対する人の感じ方は、ちょっとした工夫の一つで多少なりとも変わるのではないかと私は考える。この「世間の目」の形成は成長するにつれて自然発生的に獲得するのであり、それを隠すというのは非常に困難を極めるように思えるが、そう難しいことではない。その「世間の目」を感じている事柄について、信頼できる人に話してみることが一つ目のステップである。とてもありきたりと言われれば否定はできないが、悩みを自分の内から外へ放流することにより、気持ちが落ち着く心地がするのはわかるだろう。悩みを共有することによって抱える感情の大きさは低減する。しかし、中には話相手が親しいが故に、悩みと真剣に向き合ってくれるだろうか、という迷いも生じることもある。これには相手側の配慮も必要になってくるだろう。相手側は、当事者の悩みをありのままに受けとめることが求められる。その悩みが小さかろうが、大きかろうが当事者には立派な悩みであるので、フラットな視点で思いに寄り添ってみる。そのような相互関係が成り立った上での悩みの告白は、意味あるものとして、マイナスな方向に発展することはほとんどないであろう。

本書を読んで、「私」という概念の形成がなされるまでに、身の回りに縦横無尽に生い茂るツタのような他者との密接な関係があることに気づかされた。そして、当たり前への弊害と障がい者への理解も同時に深まるに違いない。一度、身体に閉じ込められた「私」を思考の外に出してみる試みをしてみると面白いと思う。



【参考資料】『「私」とは何か』 浜田寿美男著 (講談社)1999年11月







書評 優秀賞

「湯を沸かすほどの熱い愛」

総合文化学部 英米言語文化学科 1 年次

勢理客 佑

(年次は受賞時)

人の命とは。残り数ヶ月の命だと宣告された時私はどうするのだろう。あなたならどうしますか。そういったことを感じさせる作品でした。

主人公は明るく強く、がしかし末期ガンを宣告されて余命2～3ヶ月しかなく3人の家族を支える母、幸野双葉。彼女には娘や夫がいるのですがどちらも問題を抱えていて、家族は共に「幸の湯」という銭湯を営んでいるのですが、ある日夫が突然失踪してしまいます。それにより休業し、パン屋で店員のアルバイトを行なって1人娘の幸野安澄を養っている双葉が、何年も煙が上まらないお店の銭湯の煙突を見るところから始まっていきます。そんなある日、彼女が職場で倒れてしまい病院で検査を受けると、伝えられたのはステージ4の末期ガンという診断でした。私には残り2～3カ月の余命しかないと知り落ち込む双葉でしたが、すぐに彼女自身のやらなければならないことの多さを悟り、力を尽くそうとします。彼女が初めに変えたのは学校でいじめられている娘の安澄でした。いじめに悩み不登校寸前に陥ってしまった安澄でしたが、双葉は彼女を立ち直らせ、彼女に、いじめる同級生たちへ言うべきことを伝えさせようとしています。また同時に行方不明の夫、一浩を連れ戻し、銭湯を再度開店すると共に家族をもう1度やり直そうとするのでした。子連れのプロ、滝本に依頼し一浩を見つけることができた双葉でしたが、一浩は彼の愛人が彼に押し付けた連れ子の鮎子と共に生活していました。しかし、双葉は彼と共に彼の娘を引き取って立派に家庭をやり直していくのでした。しかしながら、連れ子の鮎子は前の母が忘れられず家出をし、前の母の「1年後には迎えに行く」という約束を胸に迎えに来る場所に向かうのでした。双葉は心配になりながらも鮎子が向かった場所へと探しに行きます。「いるのだろうか、いや、いない方が良いのかもしれない、どちらが良いのかわからない」そんな思いの中、そこには鮎子が1人で膝に顔を埋めて座っていました。嬉しそうに彼女に返事をした鮎子を迎え、無言で双葉に身を委ねる鮎子と共に我が家へ帰るのでした。その後別の日に彼女は夫に留守番を頼みます。それは娘たちと共に旅行に出るためなのですが、実は自分の腹を痛めて産んだ娘ではない安澄にそのことを伝え、実の母、君江に会わせるためだったのです。ショックを受け現実を受け入れない安澄にあなたは「お母さん(私)の子でしょ」と勇気を与え挨拶させようとしています。また、道中に出会ったヒッチハイクの青年拓海にも生き方を諭します。こうして双葉は自身の強さと深く熱い愛情で次々にやるべきことをしていくのでした。しかしながら自身のやるべきことを果たしていった双葉でしたが、やがて力尽き、倒れてしまいます。しかし彼女の深い思いは家族たちを支え、さらには彼女に関わった拓海や安澄の実の母、君江、夫の調査に当たってくれた子連れのプロ、滝本の心をも支え、彼らを良い意味で変えていったの

でした。そうして静かに眠りにつく彼女に導かれ、新しい繋がりを得て銭湯で共に働き始める彼らたち。そして、彼らを見守る双葉の心がお店の煙突から煙となって立ち昇っていくのでした。

この作品は力を合わせて個人に降りかかる苦難を共に乗り越える作品となっていて、いじめ、忘れられない母、人生、新しい母、そして死、どれもこれも1人で考え込もうとするとすべて心を押し潰す苦難ですが、そんな時いつも支えるのは母であり家族であることを教えてくれる作品です。また、家族のあり方とは血が繋がってないとは何なのか、そんなことを考えさせられる作品であり、家族にはいろいろな形があるべきだと考えさせる作品でもあります。さらに、作者が主人公を通して伝えたいことはどんなに苦しくても目の前に死がありそれを見つめなければならない時、大切なのは精一杯生き切ることが重要なのだと言ってるように感じました。また同時に、この作品は自分自身の幸せのために生きべきなのか。他人の幸せのために生きべきなのか。そういうことも問いかける作品だと感じました。主人公を含め家族で誰一人として自分自身の幸せを目的として行動している者など1人もなく、誰かのための幸せを考えて行動していました。個人の幸せとはちっぽけだというメッセージを残した作品だと思いました。

他にもこの作品はとても表現の仕方が綿密に計算され自然に描かれていて、特に綿密かつ自然に感じたのは、娘の安澄がいじめる生徒たちに向けてクラス全員の前で「体操着を返して欲しい」と言うのと同時に、いじめに屈しないと言う意思表示の場面で唐突に娘が嘔吐するのですが、それは登校時に母から受け取った牛乳でした。作品の中で牛乳は母の心配と希望の象徴であり、同時に吐くことによってどれくらい緊張していたのかを表現している道具なのですが、読んでいると母の感情を表現するための道具だと感じてしまいます。しかしそれは、次の吐くという展開に持っていくための2重の役割を持たされた道具だったのでした。このように伏線とも感じ取れないような物や行動も実際に後の展開につながるものになっていて、しかし驚くのはそう言った伏線がとても違和感なく表現されているということです。

先ほど話したいじめに対しても反いじめというメッセージと共にいじめられた時にそこでいじめに負けず、そのいじめに立ち向かう勇気も大切であるという強烈なメッセージも込められている作品なのですが、私が1番気になってしまったのは主人公の教育論です。劇中では不登校寸前の娘を学校へ登校させようとするのですが、その方法は娘を力づくで引っ張って連れて行くというものでした。しかしそれは昭和的な教育方法で、無理やりにでも連れて行こうとするのは現代では逆効果で、最悪、ストレスから自殺する可能性も大いにあるように思ったからです。本を読む限りでは主人公はこういったことも理解した上で残りわずかな寿命から無理にでも娘を学校に行かせたかったのだと思うのですが、いじめによる自殺等は今日の日本の問題の1つで、これは保護者の支援だけでなく教員の支援問題でもあると思います。作品では娘の安澄のために学校で少人数教室を設けたりなどの支援を行う検討する描写がなく、そう言ったことを保護者と教員で相談する必要がある中、教員と保護者とのやりとりがなかったことから学校との連携の悪さが窺えます。指導や支援方法によっていじめを防止できたり、不登校の子どもが明るく学校生活を送れることができると思うのでそう言った学校と保護者の連携問題

についても作品に隠されているように感じました。

元々この作品は著者である中野量太のデビュー作であり、映画から小説化した変わった作品で国内外から計24もの賞を受賞している作品です。さらに、この小説と映画の大きな違いは1人称で描かれていることです。映画ではそれぞれの視点で物語が進行するのですが、小説ではいくつかの章に分けられ、各章ごとに毎回主人公の幸野双葉とその章でフォーカスを当てられている登場人物の視点で物語が進行していきます。その為、視点を分けることでより両者の心情や関係性がよりはっきり描かれ、より心情描写が詳しく描かれていると感じました。

最後に、私たちは今コロナ禍の中で不要不急の自粛を迫られていますが、その生活は私たちの家族の素晴らしさというものを再認識しているとテレビなどでは言われています。しかし逆にそれは家族の鬱陶しさも再認識していると感じる人もいるのではないのでしょうか。自粛生活で離婚に発展するケースは世界中にあり、自殺する人も出ています。家族の存在と命の尊さの価値観が揺らいでいるこの時代、そんな時代だからこそこの本は今読まれるべき必要のある作品だと思いました。そしてその中に家族の存在と命の尊さの答えを求めて見てはいかがでしょうか。



【参考資料】『湯を沸かすほどの熱い愛』 中野量太 (文藝春秋) 2016



## 映画評 優秀賞

### 「あなたは何者ですか？」

総合文化学部 英米言語文化学科 3年次 福峯 綾菜  
(年次は受賞時)

今回私が取り上げるのは映画『赦しのちから』だ。原題は『Overcomer』。制作のケンドリック兄弟の手掛ける映画は、「キリスト教の文化をありのままに伝える」ということで好評であり、この映画ではキリスト教の「赦し」について、また 2015 年公開の前作『祈りのちから』(原題: War Room) では「祈り」に焦点を当てたストーリーとなっていた。

監督を務めたアレックス・ケンドリックが演じるジョン・ハドソンは高校教師であり、バスケットボール部のコーチもしていた。ある日ジョンが勤める高校が、ある町の一つの工場が潰れたことをきっかけに生徒やその家族たちが次々とその町を離れて行ってしまう。学校の生徒が減ったことにより給料は減り、大好きなバスケットボールのコーチも、チームメンバーが足りなくなってできなくなった。そんなおりに彼はクロスカントリー部のコーチを任されることになる。部員は喘息持ちの女生徒ハン



ナ・スコットただ1人だけであり、そもそも走ることが嫌いなジョンはこれを断りたいと思っていた。しかし同じ高校に勤める妻と2人の息子たちの協力もあり、コーチをやっていくことに決める。

この物語のキーパーソンは、ジョンが牧師とともに教会の信徒を訪ねて行った病院で出会う1人の男性患者だ。彼はかつて夫婦でドラックに溺れ、妻を亡くした後は幼い娘を残して町を離れていた。しかしその後イエス・キリストを信じ救われてから心を改め、また病を患ってからは昔自分が苦しめてしまった人たちのいるこの町に戻ることを決めたのだった。その患者、トーマス・ヒルは実はハンナの父親であり、できることなら娘に会えるようにと願っていた。そしてジョンたち夫婦を通してハンナと会うことが叶ったトーマスは、これまでの自分の人生に起こったことを正直に話す。しかしハンナはかつて幼い自分をひとりぼっちにした父との再会や、彼の告白に戸惑っていた。またそれまでハンナを1人で育てていた祖母も、ハンナの母親の死の原因を作ったトーマスをひどく憎んでおり、赦すことができないでいた。

この映画はタイトルにもあるように、「赦し」について描かれている。赦しとは、許可することや何かを認める「許し」のことではなく、その人の行った罪や悪を「完全に忘れる、無かったことにする」ということだ。聖書ではまずイエス・キリストを信じたときに、彼の負った十字架の贖いをもって神様に罪を赦されたことをも信じるのであるが、自らの罪を赦されたことを知った者は、同じく人にされた悪、人の罪を赦すべきであるとされている。しかし誰でも知っていることであるが、人にされた悪いこと、嫌だったことを忘れ、その人と仲直りをすることはときに非常に難しいことである。それでも赦すべきであると知っている者たち、すなわち神様に自分が赦されていることを知って喜ぶ者たちは、いかにしてその人たちを赦したら良いのかと神様に祈り求めることができる。赦すことは、私たちに悪を行なった者のために行うことでない。私たちが「赦せない！」という憎しみや怒り、苦しみから解放され自由になるために行うことであることを、この映画を通して知ることができるのではないだろうか。しかし私が今回この映画でより注目したいことは、「赦し」というテーマとはまた別のところにある。それは「自分は何者であるのか」ということを知ることについてである。

今これを読んでいる方に、しばし考えてみてほしいことがある。「あなたは何者であるか」と問われたら、何と答えるだろう。かつて私は自分が何者であるかを知らなかった。

【福峯という名の家に生まれた娘。長女。綾菜という名を与えられている。特筆すべき特技はなく、趣味は読書というけれどもありきたりで面白みもない。習い事の類はどれも中途半端にやめてしまった。性格は大人しく冷静沈着、といえどそこそこ聞こえは良いものの実際のところは大体ぼんやりしているだけだ。】

「自分」というものの認識はおおよそこのようなものであったと思う。自分があまり良い特徴を持っているとは考えられず、まして何らかの価値がある存在だとはほとんど思ったことも考えたこともなかった。しかし聖書は（つまりそれを書かせた神様は）私にこう言った。『わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。』その言葉に出会った時、私の頭は考えた。「なるほど、宗教が言いそうなことだ。」しかし私の心はこう思った。「私はこの言葉を探していたし、待っていた。」

人間とは何者であるか。なぜ存在するのだろうか。ミジンコのような微生物から段々と進化し大きくなってついにヒトになった、というただの「過程」にすぎないのだろうか。いいや、そのようなはずはない。それならばさっさと死と滅亡を繰り返して次の進化を遂げれば良い。しかし自分がそのように言い捨てられて構わないような存在であると、誰が認めたいと思うであろう。あなたには価値がある。その価値とは、全知全能で全てに勝る力と栄光を持っている神様が認めたものである。いやはや、認めたどころか、神様はあなたを求めてさえいるのだ。

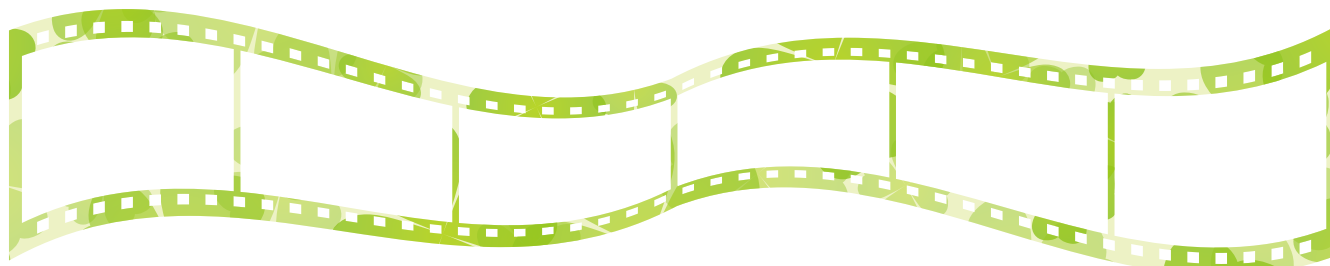
映画の主人公であるジョンやハンナも、初めは「自分が何者であるか」ということを知らなかった。もう少し言えば、間違った認識を持っていたのだ。実は私が先ほど掲げた質問は、作中でトーマスがジョンへ投げ掛けたものである。ジョンは「僕は教師だ」、「バスケットボール部のコーチだ」、「夫であり、父だ」、「白人男性だ」と答える。しかしそれらは時々失ってしまうことのあるものだ。職を失えば、妻や子どもたちに先立たれば、ジョンという人間にはどのような価値が残るというのだろうか。ただの「白人男性」であれば、星の数ほどいるのだ。そこでトーマスはジョンに、そして私たちにとって、とても大切なことを語る。人間とは、神様に大切に想われ、愛されて造られた『神様の子ども』であるということだ。聖書では預言者イザヤを通して神様がこう語っている。『女が自分の乳飲み子を忘れるだろうか。自分の胎の子をあわれまないだろうか。たとえ女たちが忘れても、このわたしは、あなたを忘れない。』私たちは自分自身の価値を、間違った自己認識によって見失ってはいないだろうか。これ以上はないという絶対的なお方が「愛している」と語っているというのに、本当に「私には価値が無い」と言えるだろうか。いいや、そのようなはずはないのである。

そして作中ではさらに、ハンナが「自分は何者であるか」の答えをエペソ人への手紙2章から見つけ出していくシーンが描かれる。そこには「神様に愛されている者」、「救われた者」、「恵みを受けた者」、「神様の作品」、「良い行いをする者」、「神様の家族」とさまざまな答えがある。あなた方もこのように価値のある存在であることを知ってほしいと、私は切に願っている。



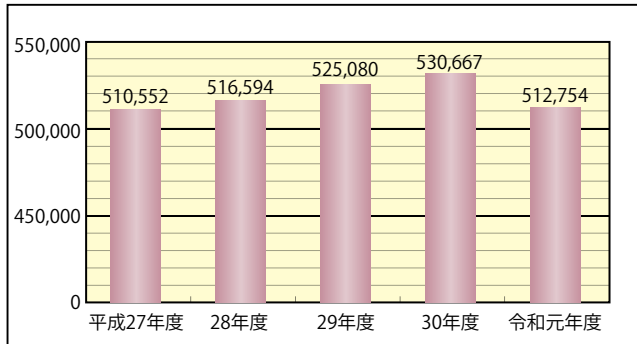
引用した聖書の聖句：イザヤ書 43 章 4 節前半、49 章 15 節、エペソ人への手紙 2 章

【参考資料】『救いのちから』 アレックス・ケンドリック監督 2019

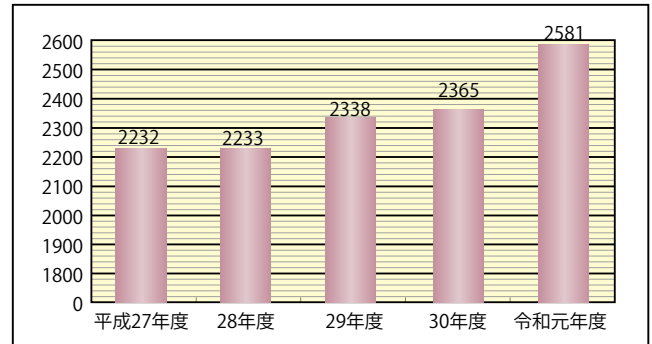


## ◆ 2019 (令和元) 年度 図書館統計 ◆

年度別図書館資料構成



年度別学術雑誌資料構成



## ◆ 2019 (令和元) 年度 図書館利用状況 ◆

### 1 学科別図書貸出利用状況

学 部	項 目	冊 数	人 数
法 学 部	法 律 学 科	1,986	1,104
	地 域 行 政 学 科	2,342	1,324
	法 学 部 計	4,328	2,428
経 済 学 部	経 済 学 科	1,838	890
	地 域 環 境 政 策 学 科	1,655	970
	経 済 学 部 計	3,493	1,860
産 業 情 報 学 部	企 業 シ ス テ ム 学 科	1,977	1,054
	産 業 情 報 学 科	1,714	959
	産 業 情 報 学 部 計	3,691	2,013
総 合 文 化 学 部	日 本 文 化 学 科	10,868	4,375
	英 米 言 語 文 化 学 科	7,093	3,133
	社 会 文 化 学 科	5,167	2,296
	人 間 福 祉 学 科	9,909	4,448
	総 合 文 化 学 部 計	33,037	14,252
学 部 計		44,549	20,553
大 学 院	法 学 研 究 科	368	143
	地 域 産 業 研 究 科	410	110
	地 域 文 化 研 究 科	1,544	535
大 学 院 計		2,322	788
そ の 他	研 究 生	1	1
	科 目 等 履 修 生	259	97
	そ の 他 講 習 生	23	13
	学 外	264	163
	専 任 教 員	2,163	633
	非 常 勤 教 員 等	927	281
	事 務 職 員 等	1,050	541
そ の 他 計		4,687	1,729
合 計		51,558	23,070

### 2 学外者の図書館利用状況

項 目	人 数	割 合
本 学 卒 業 生	7,759	35.4%
他 大 卒 学 生	1,079	4.9%
本 学 研 究 所 研 究 員	100	0.5%
他 大 学 研 究 者	100	0.5%
そ の 他 研 究 者	23	0.1%
専 門 学 校 生	817	3.7%
講 習 生 等	359	1.6%
一 般 ・ そ の 他	11,684	53.3%
合 計	21,921	100.0%

### 3 文献複写利用状況

項 目	件 数	枚 数
学 内 者	2,543	12,948
学 外 者	495	3,951
合 計	3,038	16,899

### 4 参考業務状況 (比率)

区 分	学 生	教 職 員	学 外 者	計	比 率
文 献 所 在 調 査	312	13	77	402	35.8%
事 項 調 査	31	3	4	38	3.4%
利 用 指 導	593	14	76	683	60.8%
合 計	936	30	157	1,123	100.0%

### 5 開館日数・入館者数状況

開 館 日 数	275日
入 館 者 数	225,111人

### 6 相互利用 (ILL) 状況

	依 頼	受 付	計
相 互 利 用	364	816	1,180

件数

### 7 学年別図書貸出状況

年 次	学生数 (令和元年5月1日現在)	貸出冊数	貸出人数	一人当貸出冊数 (貸出冊数/学生数)	一回当貸出冊数 (貸出冊数/貸出人数)	一人当貸出回数 (貸出人数/学生数)
1 年	1,321	10,455	6,156	7.9	1.7	4.7
2 年	1,363	10,838	5,168	8.0	2.1	3.8
3 年	1,375	11,776	4,928	8.6	2.4	3.6
4 年	1,390	11,480	4,301	8.3	2.7	3.1
全学年	5,449	44,549	20,553	8.2	2.2	3.8





図書館WEBサイト



図書館Twitter



2021(令和3)年4月1日発行

## 沖縄国際大学図書館

〒901-2701 沖縄県宜野湾市宜野湾二丁目6番1号

TEL.098-892-1111(代)

運用実務担当(内線2105～2108)

FAX.098-893-3274